

2026年 5月21日 (木) 第2827回 通常例会 会場：能登町商工会館

能都ロータリークラブ 運営方針

「百聞不如一見」



RI会長テーマ[フランチェスコ・アレッツォ会長]
「よいことのために 手を取りあおう」
第2610地区テーマ [小山英一ガバナー]
「みんなで参加しよう みんなで行動しよう」

【青少年奉仕月間】

司会 船田S・A・A

- 開会点鐘 12:30
- 再開の握手 (感染防止のため割愛)
- ローターソング 「奉仕の理想」
- 食事と交歓

■ 委員会報告

出席報告 木地委員
ホームクラブ 25/37名中 67.56%
メイク補正後 100%
ニコニコBOX 本藤委員
12件 16,000円

次年度委員会構成発表 テーブル会議

鍛冶武司会長エレクトより、2026-2027年度の理事・役員ならびに委員会構成が発表され、続いて各委員会に分かれて次年度の任務や活動計画について活発な協議が行われました。鍛冶エレクトからは、来年5月に予定されている「60周年記念事業」とその実行委員会についても説明があり、クラブ全体で次年度に向けた準備が本格的に動き始めました。



▲鍛冶武司会長エレクト

次年度の委員会構成について、皆さんにお配りした表のとおり進めていきたいと思っています。事業が多いので、新しいメンバー同士で活動方針や具体的な取り組みを話し合ってください。予算にも関わるので、その点も含めて意見を出してもらえると助かります。

また、来年度は例会参加の機会を増やすため、原則として第二木曜日を夜間例会とすることになりました。

さらに、来年5月22日の60周年記念行事に向けた実行委員会メンバーも承認されています

ので、そちらも確認をお願いします。節目の年に向けて、クラブ全体で準備を進めていきたいと思っておりますので、どうぞご協力ください。



ロータリー知識クイズ45

Q43. 1935年には日本はR I 第70地区で22RCであった。(○か×か)

【答えは次回の週報に掲載】

テーブル会議終了後には、国際奉仕委員会、友好クラブ委員会、社会奉仕委員会の各委員長が、メンバー構成や活動への抱負を発表し、力強いスタートを切りました。



会長の時間 高田清保 会長

ホルムズ海峡封鎖の影響でナフサが供給不足となり、さまざまな物が値上がりしています。影響を受けていない業界はほとんど無いでしょう。その中で鶏のから揚げが値上がりしている理由を調べると、多くの事柄が絡み合っていることが分かります。日本の鶏肉の4割近くはブラジルとタイからの輸入で、鶏舎の温度管理には石油燃料が使われ、輸送に使うトラックや船も同様です。鶏肉を輸送する製品袋の原料もナフサです。

さらに深刻なのは「肥料ショック」です。農産物に欠かせない窒素肥料は天然ガスが主原料で、海上貿易の三分の一がホルムズ海峡を通るため供給が滞り、価格が高騰しています。その結果、トウモロコシの作付面積が減り、価格も上がっています。

このように価格が上がる理由はさまざまです。鶏肉に限らず、すべての食品に影響が及んでいます。特に肥料には石油のような戦略備蓄がなく、供給不足が長期化しやすいことが問題をより深刻にしています。今後は野菜などの価格も再び上昇する可能性があります。

野菜不足への対策として、家庭菜園に取り組むという考え方もあるかもしれません。身近なところからできる工夫が求められています。

幹事報告 池岸雅弘 幹事

5月17日に川端宏二副会長と2人で、金沢医大病院に入院中の吉村匡会員を見舞った。退院までは時間がかかる見込みだが、元気そうで「早く例会に復帰したい」とのことだった。来週の例会に山上剛史ガバナー補佐が来訪予定。ジャケットとバッジ着用願いたい。5月31日(日)7時から8時にかけて、「クリーン・ビーチいしかわ(海岸清掃)」が行われる。小雨決行。

かつて当クラブの米山奨学生として在籍していた洪語珩(ホン・ユーハン)さんが、家族旅行で訪れたベトナムのお土産としてコーヒーを届けてくれました。いつまでも能都RCのことを覚えていてくれてうれしいですね。



ロータリー知識クイズ45 Q42の回答

正解は○

週報作成：能都ロータリークラブ (2025-2026年度)

会長 高田清保 幹事：池岸雅弘 公共イメージ委員長：五田秀綱

〈設立〉 1967年6月3日 〈認証〉 1967年6月23日
〈例会日〉 毎週木曜日 午後12時30分 点鐘
〈例会場〉 能登町商工会館2階
〈事務局〉 〒927-0433 石川県鳳珠郡能登町字宇出津ヲ字1-12
TEL 0768-62-0777 FAX 0768-62-3435

